

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 株式会社 緒方建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		・経営理念及び品質・環境総合方針、目標を明文化し社内に掲示するとともに、月1回の全体朝礼等で社長から社員に周知徹底に取り組んでいる。また、半年に1回、5年後の会社の姿について役員等で議論し共有するようにしている。								8	9								17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・会社の「方針と目標」に明記するとともに、月1回の全体朝礼及び現場での安全教育の場で社員に対し法令遵守の徹底に取り組んでいる。																	16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・現場単位で予め見積書を徴収し、その妥当性を検討するとともに、契約書等についても役員が確認・検討するなど、会社組織全体で公正な取引確保に取り組んでいる。										10							16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・建設業のプラス面、マイナス面を常に把握しながら、現場単位で担当、監督責任者を決め、何か問題があれば会社全体で組織的対応するようにしている。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・知的財産については業務で触れる機会は少ないが、全体朝礼や現場で知的財産保護の重要性について社員に周知するようにしている。							8.2 8.3	9									16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・個人情報は、総務部長が責任もって厳重に保管し、一括管理するようしている。また、就業規則に規定しており社員に周知するようにしている。																	16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事着工前に近隣住民に対し工事説明会を行ったり、発注者が行う意見交換会へ参加し意見を伝えよう取り組んでいる。また、協力会社(菊水会)による案全大会を年1回実施し、下請業者や取引先と協力して現場の安全に取り組んでいる。																16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスマント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●						5			8	10		12	13	14	15	16	17			
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●									9		11		13.1						16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・日頃から様々な業務を通じて経験を積ませるなど、後継者の指導・育成に取り組んでいる。					8	9											17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2		5			8			12	13	14	15	16	17			
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスマントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・差別や各種ハラスマントの防止については就業規則に規定しており、相談員・相談窓口を設置し相談しやすい環境をつくっている。万が一発生した場合は担当部署の責任者から役員、社長の報告し適切に対応するようにしている。			4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8	10.2 10.3							16.1 16.2 16.7			
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生に係る外部研修に社員を派遣するとともに、毎月労働安全衛生コンサルタントとともに、全ての現場パトロールを実施し労働安全衛生の確保に取り組んでいる。		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・正規、非正規など雇用形態に関わらず、同一労働に対しては同一賃金等の原則に沿って対応するようにしている。				5.5			8.5 8.8	10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		・令和4年4月から安全週休二日制を導入し、令和6年の有給取得率実績76.1%。また、社長から社内の責任者会議等で残業はなるべく減らし、有給休暇の計画的取得と取得率の向上を促すなどワークライフバランスの確保に取り組んでいる。		3		5.5			8.5 8.8	10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・各種外部研修に積極的に社員を派遣し費用は会社負担としている。また部門長向け、若手社員向けの研修など計画的な研修実施に取り組んでいる。			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		・年1回健康診断を会社負担で実施し要検査判定の場合は再検査を促している。また、インフルエンザ予防接種や45歳になれば半日ドッグが受診でき会社補助としている。さらに現場ではラジオ体操を励行し日頃から健康経営に取り組んでいる。		3					8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場女性社員が活躍できるよう更衣室、トイレ等は男女で区分し、入口も対面しないよう工夫している。現場の掲示物等は外国籍の作業員がいる場合、国籍にあわせた言語でも記載するなど、誰もが活躍できる環境整備に取り組んでいる。			4.4	5.1 5.5			8.5	10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・会議開催の際は、消毒、マスク着用は個人の体調等で任意直用とし、本社と現場のやり取りでウェブ会議を積極的に導入するようにしている。		3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・ICT搭載の重機やドローン測量機等、先端技術を積極的に導入し、業務の効率化と正確性、安全性向上に取り組んでいる。							8	9.1		11	12							
	21	【プライム企業】 ・プライム企業に認定されている。	●		・プライム企業に認定されている。			3	4				8	9		12							

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：株式会社 緒方建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・本社、現場単位で建設廃棄物を分別整理し、専門業者に委託し適切に処理するようにしている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・熊本県の「事業活動温暖化対策」に取組んでおり、自社エネルギー使用量を簡易計算シートを利用し把握するとともに、日頃、社長から社員に省エネ、節電を周知し事務所内のこまめな消灯や排ガス対応、省エネタイプの重機の導入に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・熊本県の「事業活動温暖化対策」に取組んでおり、簡易計算シートで自社のCO2の排出量を把握しており、削減目標も設定し、削減に向けて冷暖房の温度設定やフロア内の一部消灯、早めの退社呼びかけ、省エネタイプの重機の導入に取り組んでいる。		2.4				7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		本社事務所に緑地帯を設けるとともに、現場事務所にもプランターを設置するなど緑化に取り組んでいる。また、河川工事等では濁水が流れ出さないよう配慮するようにしている。					6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・建設資材はできるだけリサイクル製品を活用するようにしている。また、再生用紙と裏紙の積極活用に取り組んでいる。								9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・日頃から社長から社員に節水の励行を周知しており、水道蛇口には節水コマを設置し節水に取組んでいる。また、西原村の水源涵養林にびて会社として植林、手入れ、保全活動に参加している。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・建設資材は、できるだけリサイクル製品を活用するなど環境に配慮した製品の購入に取り組んでいる。また、再生用紙の利用にも取り組んでいる。								9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・会食の際は3010運動により、開宴から30分は食事に専念し、閉宴前10分前に自席に戻り食べ残しを食べることを実践し、食品ロス削減に取り組んでいる。	1	2				6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・本社事務所には植栽帯を設け、現場事務所にはプランターを設置するなど緑化に積極的に取り組んでいる。											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		・重機や車両の購入、更新の度ごとに高効率で省エネタイプの機器の活用に取り組むなどエネルギー効率の見直し、改善を進めるようにしている。						7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●		・西原村の水源涵養林において会社として植林、手入れなど森林の整備、保全活動に取り組んでいる。					6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・プラスチックを減らすため、レジ袋等は使わず、エコバックの使用に取り組んでいる。また、社員とともに河川清掃活動を行うようにしている。											12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●										9.4			11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名：株式会社 緒方建設

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 14

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・サービス提供後の顧客から注文、フィードバックに対しては現場部署、役員、社長に情報を伝達し適切に対応するようになっている。また、住宅設備等については取扱説明書を交付し説明を行うようになっている。			3.9						9			12.4						
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・玄関にスロープを設けたり、トイレをウォシュレットなどUD仕様に変えるなど、誰もが利用しやすい環境整備に取り組んでいる。									9.1	10	11.7						17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。	●		・建設資材の購入は県内事業者を優先活用するようにしている。住宅の建築に使用する木材については県産木材を優先して使用しており、また贈答品などは地元のメロンドームの商品の活用に取り組んでいる。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。	●								7						12.2	13.1		15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。	●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。	●			2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・地域の神社や高校の活動等に寄付を行っている。また、地域美化のため月1回の道路清掃、年1回の河川清掃活動を行っている。さらに地域の消防団協力事業所として取り組んでいる。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し社員に周知徹底している。また、防災備蓄として水や食糧、防災備品を常備している。	●		・ハザードマップを確認し社内に掲示し社員に周知徹底している。また、防災備蓄として水や食糧、防災備品を常備している。				4								11.5		13.1		16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。	●		・国・県・建設業協会の災害協定に参加し、巡回並びに災害時の出動を行っている。また、平成25年から菊池市より消防団事業所の認定を受けており、防災活動に取り組んでいる。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。	●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。	●		・SDGsアクションプランを策定 ・SDGsについて理解を深めるためSDGsモニタリング会議を月1回実施し、社内全体への浸透を図っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
	48	【インターンシップ等の受け入れ】 ・職場体験、インターンシップの受け入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。	●		・建設業協会を通じて毎年地域の高校生3～4名受け入れている。また、住宅建築関係で地域の大学で講義するなど学生に対し職業の学びの場を提供している。				4					8.6		10.2						17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。	●		・地元若者の雇用に積極的に取り組んでおり、令和6年度は5名雇用したが、今後とも地元の高校生や専門学生を中心に雇用に取り組んでいく。				4.4					8.5 8.6								17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。	●			2		4.3 4.4 4.5						8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。